

## 加古川市周辺におけるジムグリ *Euprepiophis conspicillatus* (Boie, 1826) の記録

安原 璃空\*

Records of *Euprepiophis conspicillatus* around Kakogawa City

Riku YASUHARA\*

### はじめに

ジムグリは日本のほぼ全域に生息する日本固有のヘビである。本種はよく地面に潜る特殊な生態を持ち、ネズミ類やモグラ類などの小型哺乳類を捕食する（関2018）。県内では広く分布するとされるが、東播地域・北播地域は分布図が空白となっており、半地中性であるという特殊性や、発見例も多くない希少性などから、県のレッドデータブックにおいて要注目種に選定されている（兵庫県 2017）。筆者は加古川市において本種の死骸を確認したのでここに報告する。また、筆者が確認できた範囲での東播・北播地域の文献記録も報告する。

### 確認記録

1ex. 兵庫県加古川市志方町大澤. 27.IX.2020. (図1)

確認した地点は農道であり、幅1m、深さ1mほどの水路をはさんで樹林がある。死骸は胴体に外傷があり、そこから内臓の一部が飛び出していた。確認した死骸は持ち帰らず、写真による記録のみを行った。

### 文献記録

加古川大堰周辺. 2000年; 国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所 (2018)

小野市鴨池周辺; 佐藤 (2020)

加古川大堰周辺の記録については、加古川大堰定期報告書(案) (URL: <https://www.kkr.mlit.go.jp/river/followup/jouhou/siryu/pdf/130319/0306seibutsu.pdf> 2021年10月30日閲覧) に記されている記録と同じものだと思われ、定期報告書(案)によれば万願寺川合流点上流で1個体が確認されている。

小野市鴨池周辺の記録については、鴨池周辺の生きものを紹介するという形で本種が挙げられていたため、確認日等の詳細は不明である。

### 引用文献

- 兵庫県. 2017. 兵庫の貴重な自然. 兵庫県版レッドデータブック2017 (哺乳類・爬虫類・両生類・魚類・クモ類). (公財) ひょうご環境創造協会.
- 国土交通省近畿地方整備局姫路河川国道事務所. 2018. 平成29年度加古川大堰定期報告書.
- 佐藤邦夫. 2020. ひょうごの森と水辺の生き物を訪ねて. 46pp. (一社) 兵庫県治山林道協会. 兵庫.
- 関慎太郎. 2018. ジムグリ, 野外観察のための日本産爬虫類図鑑第2版. 164 ~ 165. 緑書房. 東京.

\* 滋賀県立大学環境科学部環境生態学科  
2021年10月31日受理



図1 確認したジムグリの死骸